

地盤沈下の状況と対策

1. 全国の地盤沈下の状況

(1) 平成14年度の状況(図-1、表-1、表-2)

平成14年度の全国での年間最大の地盤沈下量は、千葉県山武町植草の3.3cmであった。年間4cm以上沈下した地域は、平成13年度に引き続き認められなかった。

年間2cm以上沈下した地域数は、8地域(平成13年度は9地域)、沈下した面積は461km²(平成13年度は28km²)であった。

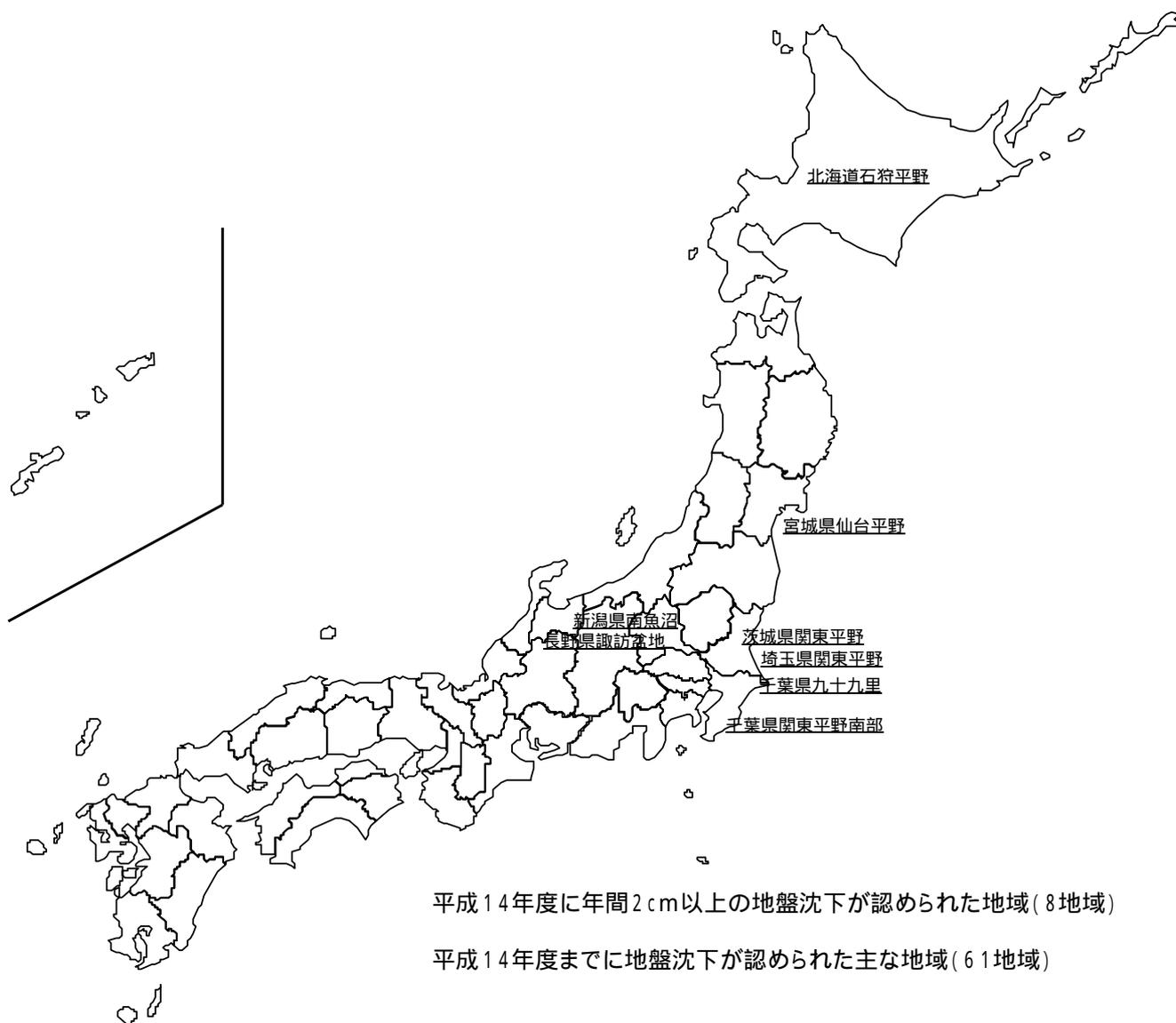


図-1 平成14年度の全国の地盤沈下の状況

表 - 1 地域別沈下量（平成14年度）

順位	沈下量(cm)	地 域 名	市 町 村 名
1	3.3	千葉県九十九里平野	<small>さんぶぐんさんぶまち</small> (山武郡山武町)
2	3.1	茨城県関東平野	(古河市)
2	3.1	長野県諏訪盆地	(諏訪市)
4	2.8	千葉県関東平野南部	<small>やちまたし</small> (八街市)
5	2.5	北海道石狩平野	(札幌市)
6	2.4	埼玉県関東平野	(北埼玉郡北川辺町)
7	2.2	宮城県仙台平野	(仙台市)
8	2.0	新潟県南魚沼	(南魚沼郡六日町)

(注) 沈下量は、各地域内の最大沈下量を示す。

は平成13年度には、2cm以上沈下した地点が認められなかった地域

表 - 2 年間2cm以上沈下した地域の面積（平成14年度）

地 域 名	面積 (km ²)
千葉県九十九里平野	389
千葉県関東平野南部	66
埼玉県関東平野	4
茨城県関東平野	1
北海道石狩平野	1
合 計	461

(注) 沈下面積が1km²以上の地域（平成13年度は合計28km²）

は平成13年度には、2cm以上沈下した面積が1km²以上認められなかった地域

(2) 地盤沈下面積等の推移(図-2、表-3、表-4)

環境省が集計を開始した昭和53年度以降の全国の地盤沈下地域の数及び面積の推移を表-3に示す。2cm以上沈下した面積をみると平成14年度は、461km²と大幅に増加しており、その地域は表-2に示すように千葉県が大部分を占めている。

全国の地盤沈下の状況は、概ね減少傾向にあるものの図-2に見られるようにその推移は安定しているとは言い難く、特に平成6年度のように湧水が発生すると急激な地盤沈下が生ずる可能性がある。

また、2cm以上沈下した地域数は、表-4に示すように平成10年度以降9地域程度で推移しているものの、その地域は異なる。

表-3 全国の地盤沈下地域の数及び面積(年度別推移)

	上段：地域数(単位：地域)						下段：面積(単位：km ²)					
	昭和53	昭和54	昭和55	昭和56	昭和57	昭和58	昭和59	昭和60	昭和61	昭和62	昭和63	
年間2cm以上沈下した地域	28	25	23	25	22	22	31	19	18	12	17	
年間4cm以上沈下した地域	13	9	8	8	8	6	12	7	6	7	5	
年間2cm以上沈下した地域	1,946	624	467	689	616	594	814	499	396	500	617	
年間4cm以上沈下した地域	404	176	100	60	45	45	161	40	7	22	63	

	平成元	平成2	平成3	平成4	平成5	平成6	平成7	平成8	平成9	平成10	平成11
年間2cm以上沈下した地域	16	18	17	19	11	21	14	13	9	9	9
年間4cm以上沈下した地域	4	5	4	6	1	6	2	4	0	0	0
年間2cm以上沈下した地域	285	360	467	525	276	902	21	258	244	250	6
年間4cm以上沈下した地域	7	14	6	25	>	113	>	22	0	0	0

	平成12	平成13	平成14
年間2cm以上沈下した地域	7	9	8
年間4cm以上沈下した地域	6	28	461
年間2cm以上沈下した地域	6	28	461
年間4cm以上沈下した地域	0	0	0
年間4cm以上沈下した地域	0	0	0

(注) 一部面積を測定していない地域がある。
面積は四捨五入の上、1km²単位で表示している。
>とは、0.5km²未満を示している。

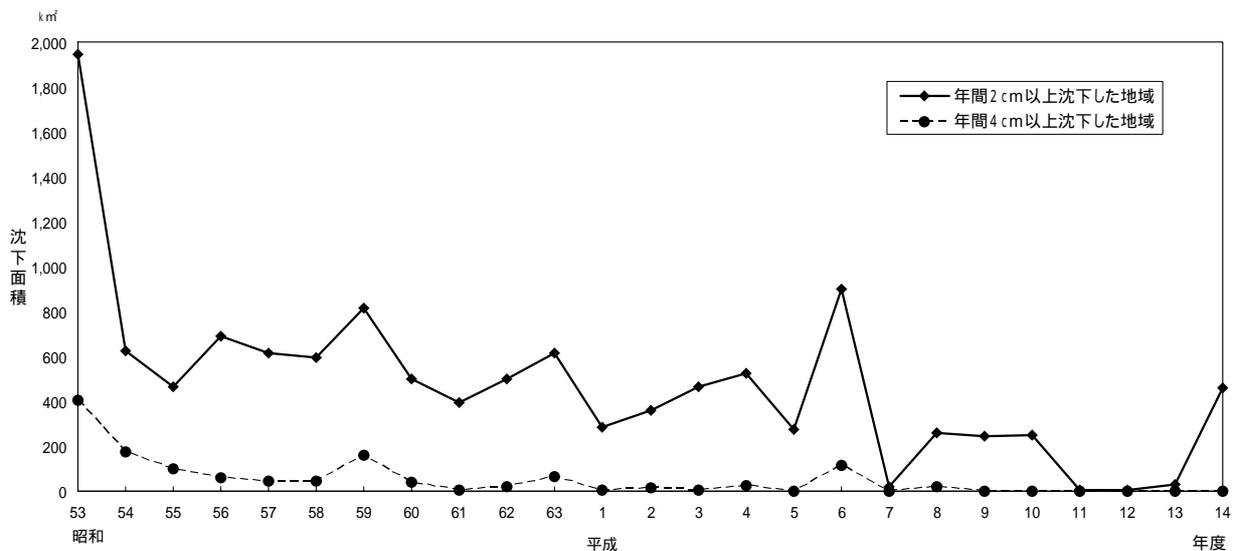


図-2 全国の地盤沈下地域の面積(年度別推移)

表 - 4 2 c m以上沈下した地域の推移（平成10～14年度）

順位	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
1	3.3 千葉県九十九里平野 (長生郡白子町)	3.3 埼玉県関東平野 (北葛飾郡鷺宮町)	3.5 新潟県南魚沼 (南魚沼郡六日町)	3.1 新潟県南魚沼 (南魚沼郡六日町)	3.3 千葉県九十九里平野 (山武郡山武町)
2	2.9 岐阜県濃尾平野 (海津郡海津町)	3.3 新潟県南魚沼 (南魚沼郡六日町)	3.3 熊本県熊本平野 (熊本市)	2.7 熊本県熊本平野 (熊本市)	3.1 茨城県関東平野 (古河市)
3	2.7 千葉県関東平野 (山武郡芝山町)	3.2 千葉県九十九里平野 (東金市)	2.9 埼玉県関東平野 (北葛飾郡鷺宮町)	2.6 千葉県九十九里平野 (長生郡睦沢町)	3.1 長野県諏訪盆地 (諏訪市)
4	2.5 新潟県南魚沼 (南魚沼郡六日町)	2.4 茨城県関東平野 (下妻市)	2.2 石川県金沢平野 (金沢市)	2.2 埼玉県関東平野 (越谷市)	2.8 千葉県関東平野南部 (八街市)
5	2.4 埼玉県関東平野 (越谷市)	2.2 千葉県関東平野南部 (成田市)	2.1 茨城県関東平野 (下妻市)	2.2 神奈川県関東平野南部 (横浜市)	2.5 北海道石狩平野 (札幌市)
6	2.3 神奈川県県央・湘南 (平塚市)	2.2 熊本県熊本平野 (熊本市)	2.1 佐賀県筑後・佐賀平野 (杵島郡白石町)	2.2 茨城県関東平野 (猿島郡総和町)	2.4 埼玉県関東平野 (北埼玉郡北川辺町)
7	2.3 佐賀県筑後・佐賀平野 (杵島郡白石町)	2.1 石川県金沢平野 (金沢市)	2.1 千葉県九十九里平野 (長生郡長南町)	2.2 山形県米沢盆地 (米沢市)	2.2 宮城県仙台平野 (仙台市)
8	2.2 宮城県古川 (古川市)	2.1 岐阜県濃尾平野 (海津郡海津町)		2.1 長野県諏訪盆地 (諏訪市)	2.0 新潟県南魚沼 (魚沼郡六日町)
9	2.2 大阪府大阪平野 (大阪市)	2.0 新潟県新潟平野 (新潟市)		2.1 千葉県関東平野南部 (市川市)	

(注) 沈下量は、各地域内の最大沈下量(単位: c m)を示す。

毎年測量が実施されていない場合は、測量が実施された期間の平均年間沈下量

(3) 最近5か年の累積沈下量(表-5)

過去5か年間の累積沈下量が10 c m以上の地域は、次のとおりであった。

表 - 5 地域別の5か年累積沈下量

地 域 名	累積沈下量 (cm)
新潟県南魚沼(南魚沼郡六日町)	14
千葉県九十九里平野(長生郡長南町)	12
埼玉県関東平野(北埼玉郡鷺宮町)	12
茨城県関東平野(古河市)	10
北海道石狩平野(札幌市白石区)	10